

絆

赤井むつみ後援会便り第52号

笑顔あふれる温かい町に！

2021年 6月 発行



一般質問

質問 コロナによる貧困対策を！

コロナにより飲食業者はもちろん、そこで働いている従業員の皆さんや、訪問しなければならない仕事関係の皆さん、ホタテ以外の漁業者さんから生活が大変という声が上がっています。緊急小口資金や総合支援資金等の国の支援はありますが、これは借金なので返済を考えると気軽に借りることが出来ません。政府は7月から、困窮世帯に最大30万円の支援金を新たに配ると決めましたが、緊急小口資金等の貸付制度が上限に達している場合、ハローワークで求職中か生活保護申請中であること、貯金が100万円以下という条件があり、もらえる方はごく限られ、返す当てがないから借金が出来ない困窮者の方はもらうことが出来ません。こうした状況に対し、今後、町としてどのような対応をお考えでしょうか？

答 関係機関と連携を困り対策を検討！

7月からの支援金制度の全容が国からまだ示されていないため、町としての体制も決められないが、町としても、社会福祉協議会や各機関と連携を取りながら、きめ細かな相談と制度のPRを行う。魚の値段が非常に安く漁業者が大変という声も聴き、心を痛めているので、3漁協としっかり話し合い、支援策を考える。コロナ禍で生活が大変厳しくなっているという身に詰まる話もあり、今後の方向性も協議していきたい。

質問 2025年は目前！



2025年には人口の4~5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入します。そのため政府は「地域包括ケアシステム」を提唱し、住み慣れた地域で人生を全うする仕組み作りを推し進めています。国の社会保障制度に頼りすぎず、老後の生活を自助努力と地域の枠組み、民間活用で切り抜ける社会をめざそうとする政策です。しかし、2020年時点ですでに年金の費用負担は増え続ける一方、年金の額は減少するばかりです。また、少子化により医療・介護に携わる人口も減り、今後は入院したくても受け入れてもらえない、介護も受けられないという医療難民や介護難民、老々介護、認認介護等が予想されます。住み慣れた八雲町で人生を全うするために、こうした医療・介護・人材確保の問題に対し、現状と今後の対策をお伺いします。

答 機構改革を検討！

医療と福祉は直結している。今は福祉の部分福祉課と住民生活課で担っているが、今後機構改革や分かりやすく動きやすい課の編成を協議していく。縦だけではなく横の連携も大切に、住民生活課・福祉課、更に医療も連携できる部署を作り、八雲町に住む高齢者も若い人も安心して生活できる機構改革を行う。

第2回定例会 補正予算の主なもの

主な内容	金額	財源内訳	
		国道支出金	一般財源
企画調査費 ・熊石八雲間予約バス運行事業補助金 (総額 1 億 4,051 万 2 千円の事業)	1,453 万 9 千円 1,437 万 4 千円 (バス購入費と運営費半年分) 16 万 5 千円 (印刷製本費)		1,453 万 9 千円
児童措置費 ・放課後児童健全育成事業補助金 ・子育て世帯生活支援特別給付金	1,249 万 5 千円 247 万 4 千円 990 万円	1,191 万 9 千円	57 万 6 千円
病院事業費 ・繰出金 (医師住宅購入費) 繰出金合計 17 億 2,217 万 6 千円)	4 億 6,700 万円		4 億 6,700 万円
農業振興費 ・強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金 (熊石地域トラクター・水道) ・畑作構造転換事業補助金(馬鈴薯の種芋供給)	1,123 万 3 千円 984 万 1 千円 139 万 2 千円	1,123 万 3 千円	
林業振興費 ・高性能林業機械整備事業補助金(森林組合へ 3/1 補助)	863 万 4 千円	863 万 4 千円	
商工振興費 ・あわびの里フェスティバル中止に伴い、あわびを買い取り、格安で販売するための補助金	345 万円		345 万円
消防施設費 ・耐震性貯水槽設置工事請負費(花浦・落部に整備)	2,756 万 6 千円	548 万 6 千円	地方債：2,200 万円 一般財源： 8 万円
郷土資料館費 ・旧棒二守屋前のクマの石像運搬費	119 万 9 千円		119 万 9 千円

※ 医師住宅を買い取りました！

- ・相生町の医師住宅用地 (3,968.86 m²) 3,786 万 7 千円
- ・相生医師住宅 A 棟他 16 棟 4 億 7,213 万 3 千円 計 5 億 1 千万円

今まで医師住宅借り上げ料を支払い、残金が 7 億 8,750 万円となりました。相手方との話し合いにより、この度、5 億 1 千万円で買い取ることが決まりました。議会では「減価償却等を考えると、もう少し安くても良いのでは？」という意見もありましたが、「再リースのことを考慮しても、決して高い買い物ではない！」と判断し購入することになりました。

相沼地区地域会館新築工事

- ・契約の方法：地域限定型一般競争入札
- ・契約の金額：8,085万円
- ・契約の相手：原田・熊谷特定建設工事共同企業体

2021年12月29日の完成が予定されています。

相沼地区の皆さまにとって、憩いの場となることを心から願っております。

除雪ドーザ(8t級)と消防ポンプ自動車を購入

- ・除雪ドーザ1台：1,309万円
コマツカスタマーサポート株式会社北海道カンパニーより購入
納期：2022年1月31日
- ・消防ポンプ自動車1台：3,562万9千円
株式会社 北海道モリタより購入
納期：2022年2月14日

文教厚生常任委員会 への報告より

☆コロナワクチン接種の状況について

- ・高齢者の皆さまは、2回目の接種が順次行われています。
- ・小中校・保育園・幼稚園・学童の職員は優先的に摂取できるよう準備をしています。
- ・八雲地域では、59歳以下の方も予約が出来るようになったら、接種券を送付します。7月中を予定しています。
- ・熊石地域では、9月くらいには全ての接種が終了する予定です。12歳以上の希望する方は全員接種することが出来ます。

☆熊石国保病院の決算について(2020年度分)

- ・コロナの影響で、入院患者さんも外来患者さんも減ったため、5,961万2千円の赤字となりました。(内部留保資金は、2億2,487万8千円、病床利用率は、49.1%)

☆八雲総合病院の決算について(2020年度分)

- ・脳外科の常勤医師がいないことにより、入院患者さんが減少し、コロナの影響で外来患者さんも減少しましたが、給与費や材料費の減やコロナ交付金等により、十数年ぶりに2億171万7千円の黒字となりました。(内部留保資金は、6億5,746万9千円)

広報広聴常任委員会より

年に4回、委員会では議会広報紙を発行しているのですが、ご覧いただいているでしょうか？『耳をすまして』のコーナーでは、町民皆さまのご協力の下、取材記事を掲載させていただいています。もっと多くの皆さまの声を！と思っておりますが、予算上、ページも限られていて、なかなか難しい面もあります。また、コロナのため、議会報告会も開催できないということもあり、委員会としてはより議会を身近に感じ、関心を持っていただくために、短い動画配信をすることになりました。(スマホでも見られますよ！)1分~2分程度ですので、是非、ご覧ください！そして、感想やご意見、ご指導もどんどん受け付けておりますので、どうぞよろしくお願い致します。8月に発行される広報紙が、この4年間の最後となるので、4年間の自己評価も掲載予定です。選挙後は新たなメンバーで活動が始まります。

第39回 山車行列も中止!

またまた残念! 昨年に続いて今年の山車行列もコロナにより中止となり、第38回・39回は幻の山車行列となってしまいました。

しかし、今年はとっても小さな山車を作って、幼稚園の入口に飾ることにしました。八雲シンフォニー・セントー前にも飾っていますので、是非、ご覧ください!

今年の干支は牛ですが、昨年の干支のネズミが登場できなかったのも、親切的な牛がネズミも担いでくれています。また、昨年同様、公民館駐車場で踊りの披露が出来るよう準備をしています。コロナ禍でも、安全に楽しめる方法をみんなで考えて行きましょう!

コロナワクチン!

八雲町でも、コロナワクチン接種が開始され、医療従事者の皆さまはもちろん、すでに2回目の接種を終えた方もいらっしゃいます。8月には若い方たちも接種できるようになりそうです。インフルエンザもそうですが、ワクチンを打っても感染する場合がありますし、毎年接種しなければならないかもしれませんね。コロナとは長い付き合いになるのでしょうか

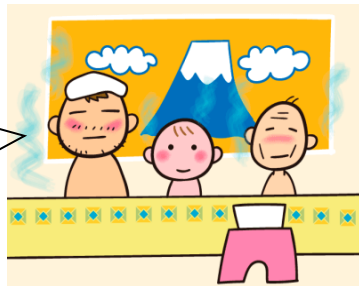
山車行列が中止となったため、せめて雰囲気だけでも楽しんでいただこうと思い公民館の隣の「梅雲亭」に、弘前市のねぶた絵師「大節さん・幻節さん」の絵を展示しております。

7月11日まで展示予定ですので、是非、ご覧ください! また、10年ごとに発行している山車行列の写真集も設置しております。懐かしい顔や山車に会うことが出来ますよ!



昨年の6月の会報で、『元町の昭和湯は、お盆前にオープン出来るそうです』と書いたのですが、色々不具合が出て、いまだにオープンできていません! 現状では、いつオープンできるという報告はありませんが、期待して待っている人もいますので、できるだけ早くオープンしてくれると助かりますね! (ちなみに、まだオープンしていないので、町からの補助金は一切出ていません)

待ち遠しいね~!
まだかな~



<アイヌブランド化の推進>

総務委員会の報告の中に、八雲漁協が「アイヌ政策推進交付金」を利用して、アイヌブランド化の推進で、3年貝の養殖に取り組むという報告がありました。稚貝が育たなかったり、価格がとても安くなってしまったりと、ホタテ漁師さんも苦しい時期が続きましたが、このことで少しでも明るい兆しが見えてくると良いですね。成功することを心から祈っております。檜山漁協と落部漁協が取り組んでいる二海サーモンも好調です



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を!)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090